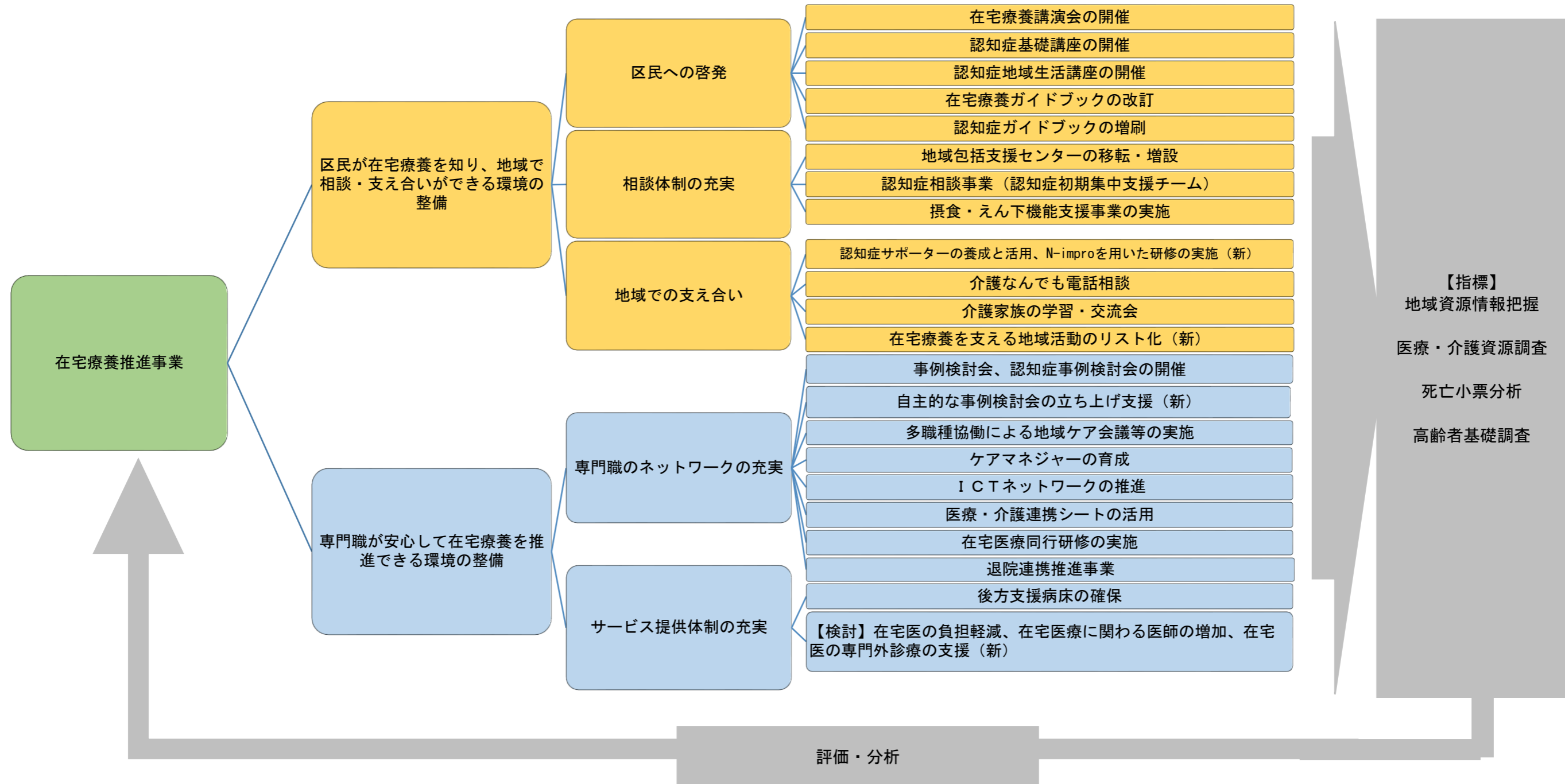


練馬区在宅療養推進事業（令和元年度～令和2年度）

目標	高齢者等が在宅で安心して療養できる体制を構築する。
----	---------------------------



練馬区在宅療養推進事業（令和元年度～令和2年度）

目標	高齢者等が在宅で安心して療養できる体制を構築する。
----	---------------------------

区民が在宅療養を知り、地域で相談・支え合いができる環境の整備

①区民への啓発

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
多世代が在宅療養や認知症について知っている。 区民が終末期の過ごし方について考え、大切な人と共有している。	区民へのさらなる周知 子世代区民（40代～50代）への周知 終末期の過ごし方について考える機会づくり	在宅療養講演会の開催 2回/年	在宅療養講演会の各回で、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）※の内容を盛り込み、終末期の過ごし方について考える機会とする。また、家族向けのテーマを取り上げ、子世代区民の参加を促す。	講演会参加人数 【新規】講演会アンケートの「講演を聞いて、どのような医療や介護を受けたいか、家族や専門職等と話し合いたいと思った」の割合	高齢者基礎調査 在宅療養が難しいと思う理由「在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから」のポイントの減少 高齢者基礎調査 【新規】「家族等と最期の医療について話し合ったことがある」	地域医療課
		認知症基礎講座 認知症地域生活講座 各3回/年	認知症サポート医による認知症の基礎的な医学的知識を学ぶ講座。認知症の方が地域で安心しての暮らすため、地域密着型サービス等を活用した在宅生活を学ぶ講座を開催する。	講座参加人数 講座アンケートの「講座内容がわかりやすかった」の割合		高齢者支援課
		区民啓発ガイドブックの活用 ・在宅療養ガイドブックの改定 ・認知症ガイドブックの増刷	病院の医療連携室や診療所、歯科診療所、薬局、地域包括支援センター、区立施設等の多様な場面で区民に配布する。また、講演会や地域ケア個別会議等で利用し、在宅療養および認知症の周知啓発を行う。 在宅療養ガイドブックにACP（アドバンス・ケア・プランニング）に関する項を設け、終末期の過ごし方について考える機会とする。	区民向けガイドブックの発行部数		地域医療課・高齢者支援課

※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）…自分の最期の医療や介護について、家族や医師、看護師など周りの支えてくれる人たちとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと

②相談体制の充実

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
身近な地域で専門性の高い相談ができる。	区民等の相談窓口の強化 認知症患者の早期発見、相談窓口の充実 摂食えん下機能の低下の早期発見と支援	地域包括支援センターの移転・増設	地域包括支援センターを身近で利用しやすい窓口とするため、区立施設等へ移転・増設を実施する。	相談件数（延件数）	高齢者基礎調査 家族介護者の負担や困りごと 「誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない」の回答割合の減少	地域包括支援センター
		認知症相談事業（認知症初期集中支援チーム）	地域包括支援センターにおける認知症相談の利用促進と認知症専門医や専門病院との連携による初期集中支援の充実を図る。	認知症相談件数（延件数） 初期集中支援チーム対象者数		地域包括支援センター
		摂食・えん下機能支援事業の実施	摂食・えん下機能支援センターでは、摂食・えん下機能の低下を早期に発見するための簡易チェックシートを用いて評価・結果票を作成し、利用者を必要な予防、支援につなげる。	摂食・えん下推進事業の利用者数、支援につながった利用者数		歯科医師会・地域医療課

③地域での支え合い

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
在宅療養の当事者とその家族を地域で支える。	認知症の方が住みやすい地域づくり	認知症サポーターの養成と活用、N-improを用いた研修の実施	区民や地域のコンビニ店員などを対象に、認知症についての正しい理解を促進し高齢者への対応力の向上を図る。	各取組の参加人数 講座アンケートにおける「仕事や生活で講座の内容が役立つ場面がある」の割合	在宅介護実態調査 在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護「認知症状への対応」の減少 高齢者基礎調査 家族介護者の負担や困りごと 「誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない」の回答割合の減少	高齢者支援課（協働推進課）
	介護経験者による介護家族への支援	介護なんでも電話相談	介護の悩みを気軽に話せるよう、介護経験者による電話相談の利用促進を図る。	相談件数 相談者の声		NPO法人認知症サポートセンター・ねりま・高齢者支援課
	介護家族の学習・交流の場の充実	介護家族の学習・交流会	社会が支える介護を学ぶ講演会および介護の経験交流会。1日制×年4回。	参加人数 参加者アンケートにおける「参考になった」の割合		NPO法人認知症サポートセンター・ねりま・高齢者支援課
	地域活動の見える化	在宅療養を支える地域活動のリスト化	地域活動の見える化を図り、区民が自由にアクセスできるようにする。	リスト掲載数		高齢者支援課・地域医療課・その他関係機関

専門職が安心して在宅療養を推進できる環境の整備

①専門職のネットワークの充実

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
医療・介護従事者のネットワークを充実し、よりきめ細やかなサービスが提供できる。	多職種顔の見える関係づくりと相互理解の促進	事例検討会（ACP）の開催 4回/年 認知症事例検討会の開催 4回/年	多職種の顔の見える関係づくりと相互理解の促進のため、多職種でグループディスカッションを用いた検討を行う。テーマとしてACPを取り上げる。認知症支援をテーマとした事例検討会を認知症疾患医療センター（慈雲堂病院）を中心に開催する。	事例検討会アンケートの「他職種のサービス内容に関する理解が深まった」「同グループの方と今後も連絡を取り合える関係性を築けた」の割合 認知症事例検討会アンケートにおける満足度	練馬区医療・介護資源調査 各職種間の望ましい関係と現在の関係の差の減少	地域医療課・高齢者支援課 認知症疾患医療センター
		自主的な事例検討会の立ち上げ支援	地域包括支援センターが地域の医療・介護事業者等による自主的な事例検討会の立ち上げを支援する。	支援数		高齢者支援課
		多職種協働による地域ケア会議等の実施	地域包括支援センターごとに、個別ケースの支援内容の検討等を通じ、医療・介護事業者の各専門職、地域の関係者が協働し、地域に共通する課題・不足する社会資源を把握し、地域包括ケアシステムの実現を目指す。	地域ケア会議の開催数		高齢者支援課
		ケアマネジャーの育成	ケアマネジャーの資質を向上するため、主任ケアマネジャーが初任ケアマネジャーの業務に同行する「地域同行型研修」や、在宅療養を支えるチーム員会議の運営方法を実践方式で学ぶ「地域カンファレンス」等を実施する。	研修受講者のアンケートによる満足度		高齢者支援課
	医療・介護の情報共有の促進	ICTネットワークの推進（補助金事業）（H32年度終了予定）	医療・介護関係者のICTネットワークを活用した情報共有を推進するため、デバイスの購入費等について補助する。	補助事業所数		地域医療課
		医療・介護連携シートの活用	主に高齢者に関わる関係機関の連携を円滑にするため、担当者記載シートを地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、薬局にて配付する。	発行数 練馬区医療・介護資源調査で医療・介護連携シートの認識の「知らない」の割合の減少		高齢者支援課
	病院と在宅サービスの連携の強化	在宅医療同行研修の実施	病院スタッフが在宅医療スタッフの現場に同行し在宅医療業務を体験する研修を実施する。実施後には、参加者が研修で体験した内容や気づいたことについて病院スタッフと在宅医療スタッフとの意見交換等を行う振り返り研修を実施する。看護師のみならず、リハビリテーション職種や薬剤師等の対象者を拡大する。	在宅医療同行研修受講後アンケート 【新規】在宅医療業務に対する理解度		地域医療課
		退院連携推進事業（H31年度終了予定）	平成30年度までに出来た退院連携のガイドラインを基に、区内の各病院スタッフと調整しながら、病院ごとのガイドラインを作成する。	ガイドラインの作成数		地域医療課

②サービス提供体制の充実

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
24時間365日在宅医療を提供できる。	緊急時に入院できる環境の整備	後方支援病床の確保	練馬区医師会員の事業として実施。訪問診療を実施している主治医が、一時的な入院治療が必要と判断した在宅療養者を協力医療機関が、短期間受入れる。（練馬区補助金事業）	後方支援病床の利用件数	練馬区医療・介護資源調査 後方支援病床を「知らない」と回答した診療所の割合の減少	医師会・地域医療課
	【検討】在宅医の負担軽減		【医師会との検討】 夜間・休日の負担軽減を図るための体制を検討			医師会・地域医療課
	【検討】在宅に関わる医師の増加		【医師会との検討】 在宅医療への参画を推進するための研修会等を検討			医師会・地域医療課
	【検討】在宅医の専門外診療の支援		【医師会との検討】 在宅での他科連携の推進するための取組を検討			医師会・地域医療課

【指標】

目指すべき状態	取組	概要	担当・所管
在宅療養を取り巻く現状と経年的な変化を把握し、区民、事業者のそれぞれの状況と合わせ立体的に分析し、在宅療養推進事業の今後の方向性を検討する。	地域資源情報把握 (4回/年)	在宅療養支援診療所数(在宅医数)、訪問看護ステーション数、各種介護保険サービス事業者数(24時間対応、医療対応型)、その他資源数等の量的な医療介護資源の現状を把握し、他の調査と合わせ、在宅療養推進事業の今後の方向性を検討する。	地域医療課
	医療・介護資源調査(1回/3年) ⇒次回H31実施(高齢者基礎調査に合わせる)	医療・介護事業者へのアンケートで質的な医療介護資源の現状を調査し、練馬区における在宅療養の環境整備状況および在宅療養推進事業の現状と課題を把握する。	地域医療課
	死亡小票分析(1回/年)	死亡場所別死亡者数(医療機関死亡者数、自宅死亡者数、施設死亡者数)、死因別死亡者数、医療機関別自宅看取り数等を把握し、今後の在宅療養の需要を予測する。	地域医療課
	高齢者基礎調査(1回/3年) ⇒次回H31実施	区内の高齢者等を対象に、生活実態等を把握し、在宅療養推進事業の今後の方向性および練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を検討する。	高齢社会対策課

No	団体名	対象	課題	目的	取組（事業名）	期間	頻度	関与	概要
1	練馬区医師会	主治医、訪問看護ステーション職員、その他関係者（病院医療連携室等担当者、行政等）	専門職のネットワークの充実	専門職のネットワーク連携強化	主治医と練馬区訪問看護ステーション連絡会との研修懇親会	平成14年度～	年1回程度	主催	訪問看護ステーションに訪問看護指示書を出す主治医と、現場で実際に患者と接する訪問看護スタッフとの情報交換、連携、交流を図り、資質向上のための研修懇親会。
2		練馬区医師会会員、会員施設従事者、その他、連携する多職種	専門職のネットワークの充実	在宅医療に必要な知識や技術の習得	在宅医療研修会	平成29年度～	年2～3回	主催	在宅医療に必要な知識や技術の習得等を目的とした研修会を開催する。平成31年度は専門医師による講演、薬剤師、地域包括支援センターからの講演を実施。
3		練馬区医師会会員、会員施設従事者、その他、連携する多職種	サービス提供体制の充実	病院から在宅療養生活への円滑な移行	東京都在宅療養研修事業にかかる病院内での理解促進研修	平成30年度～	年2回	主催	病院内で病院スタッフ等へ地域在宅医、多職種等を講師とした研修。
4		練馬区医師会会員、会員施設従事者、その他、連携する多職種	専門職のネットワーク	在宅医療現場の実際の把握	東京都在宅療養研修事業にかかる相互研修	平成30年度～	適宜	主催	病院スタッフが在宅療養の現場を理解する為、患家宅へ同行訪問および老健施設への見学により地域資源の把握をする。
5	練馬区医師会訪問看護ステーション	区内訪問看護ステーション所長	専門職のネットワーク	区民への質の高い訪問看護の提供	練馬区訪問看護ステーション連絡会事務局	平成10年度～	月1回	協力	練馬区医師会訪問看護ステーションが事務局となり、区内約50ヶ所のステーションと連携を図る。
6	練馬区歯科医師会	区民	区民への啓発	介護家族、本人の口腔ケアの理解と促進（やり方等） 摂食・えん下機能支援事業の普及促進	練馬区歯科医師会の他団体への派遣・交流	平成28年度～	随時	協力	練馬区歯科医師会から講師を派遣し、口腔ケアの基礎と課題の解決方法の学習、意見交換、交流を行う。 平成28年度 認知症の介護家族の会「木瓜の花」例会 平成29年度 認知症カフェ
7		専門職（医師、歯科医師、薬剤師等）	練馬区歯科医師会における摂食・えん下障害への取り組み	摂食・えん下障害に関する理解	練馬区歯科医師会からの講師派遣	平成29年度～	随時	協力	歯科医師会から講師を派遣し、練馬つつじ歯科診療所で扱った摂食・えん下障害患者の症例、摂食・えん下機能支援センター事業、摂食・えん下療法等について専門職向けに講演する。 練馬区薬剤師会（地区薬剤師研修会）、練馬総合病院（練馬在宅症例研究会）、練馬区医師会（摂食・えん下研究会）、介護サービス事業者連絡協議会（研究会）、練馬光が丘病院（看護等スタッフ向け研修）
8	練馬区薬剤師会	区民	区民への啓発	健康サポート、在宅療養時の服薬支援提案	知って納得！薬剤師・薬局活用法	平成25年度～	随時	主催	街かどケアカフェや敬老館、地域の敬老会、デイサービス施設等で実施。保険薬局や薬剤師の活用法、健康相談や在宅療養になった際に受けられるサービス等について紹介する。
9		区民	区民への啓発	お薬・介護相談会	そうだ！薬剤師に聞いてみよう	平成16年～	年5回程度	主催	医薬品の適正使用、健康、セルフメディケーション、治療、介護に関する相談対応および必要に応じ受診勧奨をする。
10		区民・専門職	サービス提供体制の充実	在宅業務実施薬局の周知	在宅業務実施薬局リスト	平成25年度～	随時	主催	会員薬局で在宅業務を実施、受け入れ準備のある薬局をリスト化、HPで公開し、区民や多職種が薬局を選ぶ際に活用できるようにする。
11		専門職	服薬支援における、訪問介護等との連携	多職種への薬剤師職能の理解と活用の促進	意外と知られていない！在宅で薬剤師ができること	平成29年度～	随時	主催	多職種に薬剤師の職能を正しく理解していただき、地域や在宅療養で活用してもらうため、地域包括支援センターや関連団体の要請により講演を実施する。
12		専門職	サービス提供体制の充実	在宅業務受け入れ先のマッチング	エリアコーディネート制度	平成25年度～	随時	主催	在宅業務受け入れ薬局が見つからない、高カロリー輸液や麻薬等、医療依存度の高い事例に対する受け入れ可能な薬局とのマッチング支援を行う。
13		病院勤務薬剤師・薬局薬剤師	専門職のネットワークの充実	入退院時の連携促進	在宅業務はじめのいっぽ～みんなで考えるポリファーマシー～	平成31年度～	年1回	主催	入院中に実施されることが多い、多剤服用の解消の取組みに対して、院内外の薬剤師の共通理解を深めるための研修会を開催
14		薬局勤務薬剤師	無菌製剤処方箋応需	無菌製剤調製技能習得	無菌調製技能習得研修会	平成27年度～	年1回	主催	在宅医療における、高カロリー輸液の無菌調製の技能を習得し、処方箋応需時に対応できるようにする。

N o	団体名	対象	課題	目的	取組（事業名）	期間	頻度	関与	概要
15	薬剤師会	医療・介護の専門職・地域包括支援センター職員	地域連携の強化	地域連携の重要性の再考	改めて地域連携を考えよう！	令和2年度～	年1回	主催	連携に必要なものはなにか？それぞれの地域の特色を生かした連携をあらためて考える。専門講師を招聘してのワークショップを開催する。
16		病院勤務薬剤師・薬局薬剤師	専門職のネットワークの充実	入退院時の連携促進	多職種連携研修会	令和元年度～	年2回	主催	区内の基幹病院における入院時の服薬情報収集、退院カンファレンスの現状を知り、連携に活かす研修会を開催。今後は、情報共有ツールなどの開発や共有手段などについて検討していく。
17	練馬総合病院	専門職	専門職のネットワークの充実	多職種の相互理解の促進	練馬在宅症例検討会	平成25年度～	年1回	主催	院内外の専門職を対象に、在宅療養に関わる様々な職種に講師を依頼し、多職種の理解につながる研修を開催する。
18	順天堂大学医学部附属練馬病院	区・市民	区民への啓発	地域医療機関との連携強化 地域社会への貢献 区民への健康に関する啓蒙	区民健康医学講座	平成17年～	年6回程度	主催	いろいろな病気を当院の専門医師がわかりやすい内容で説明し、区民の理解を深めてもらうための講演会を開催する。
19	順天堂大学医学部附属練馬病院	専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、訪問看護師、ケアマネ）	地域での支え合い	より良い治療やエンドオブライフケア、アドバンスケアプランを実践する医療・介護者のネットワーク強化	ねりまケアネットワーク	平成27年～	年5回	主催	症例検討を行い、医療・介護の多職種が意見交換、信頼関係構築につなげていく研修会を開催する。
20		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、訪問看護師、ケアマネ）	専門職のネットワークの充実	多職種の相互理解の促進	在宅連携の会	平成24年～	年1回	主催	講演形式で、それぞれの職種の業務を互いに理解を深め、スムーズな連携を進めるための講演会を開催する。
21		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師、訪問看護師）	専門職のネットワークの充実	地域医療機関との連携強化の一環と地域社会への貢献	医療連携フォーラム	平成17年～	年6回程度	主催	当院が実施している医療（治療）の説明や、地域と更なる連携を図れるよう、専門的に各科の責任者が講演する勉強会を開催する。
22		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師、訪問看護師）	専門職のネットワークの充実	顔の見える地域医療機関との連携推進	医療連携の会	平成29年～	年1回	主催	地域と更なる連携強化を目指し、医師、看護師からの講演、他施設との情報・意見交換、各診療科の紹介等、着席形式で行う。
23		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師、訪問看護師）	専門職のネットワークの充実	基本的緩和ケアの教育	緩和ケア研修会	平成22年～	年1回	主催	がん診療連携拠点病院で行う研修。教育資格を持つ医療者で講義、ワークのファシリテートを行う。e-learningによる事前学習、事例検討、ロールプレイ学習を行う。
24		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師）	専門職のネットワークの充実	顔の見える地域医療機関との連携推進	練馬循環器セミナー	平成26年～	年10回	主催	地域と更なる連携強化を目指し、医師、薬剤師を中心に意見交換等を行う。当院から医師が講演を行う。
25	順天堂大学医学部附属練馬病院 がん治療センター	区民（がん患者、家族）	地域での支え合い	がん患者の交流会、ピアサポート がん治療、緩和ケアの啓発	緩和ケア交流会（患者家族ミニレクチャー&交流会）	平成26年～	年10回程度	主催	医療者からのミニレクチャーやピアサポート、こころのケアを目的とした交流会や写真展、アロマボランティア協力によるハンドマッサージ等を行う。
26		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師、理学療法士、訪問看護師、ケアマネ）	専門職のネットワークの充実	緩和ケアの質向上と顔の見える地域医療機関との連携促進	緩和ケア学習会	平成19年～	年2回程度	主催	緩和医療に伴う知識や連携に関する取り組み、事例検討等を講義形式で行い、意見交換を行う。
27	認知症疾患医療センター （慈雲堂病院）	区民	地域での支え合い	認知症の方やその家族を支援する	オレンジカフェえんがわ	平成29年度～	年12回 (月1回)	主催	院内でオレンジカフェを開催し、認知症の方やその家族を支援している。
28		専門職（ケアマネジャー、訪問介護員、訪問看護師、理学療法士）	BPSDへの対応	認知症の行動心理症状への対応を学ぶ	専門的知識獲得のための関係者向け研修	平成29年度～	年1回	主催	専門職向けに日常業務の中で対応に困るようなBPSDについて紹介し、対応の仕方について研修を行う。
29		医師会医療連携センター、医療機関（慈雲堂病院・陽和病院）、行政	専門職のネットワーク	情報共有	練馬区認知症疾患医療センター実務者連携協議会	平成28年度～	年4回	主催	認知症に係る関係機関が集まり、在宅療養を続けている認知症の方の支援について情報交換を行い、ネットワークを強固にする。
30		地域包括支援センター職員	専門職のネットワーク	初期集中支援チーム等での認知症の実態把握ツールを学ぶ	DASC-21の使い方を学ぶ	平成30年度	年1回	主催	講演会形式で、DASC-21について学び、認知症の方の実態把握を速やかに行う一助としてもらう。

N o	団体名	対象	課題	目的	取組（事業名）	期間	頻度	関与	概要
31	練馬区訪問看護ステーション連絡会	区民	区民への啓発	区民への訪問看護の周知	看護の日のイベント	平成20年度～	年1回	主催	5月の看護の日の週末に、健康測定や介護相談、訪問看護の紹介等を行い訪問看護の周知を図ることを目的としたイベントを開催する。
32		区民	区民への啓発	区民への訪問看護の周知 潜在看護師の発掘	介護週間	—	年1回	協力	練馬区事業者連絡協議会が開催するイベントで、訪問看護を紹介する展示を行うほか、相談・測定等他部会のブースへの協力を行う。 主催：練馬区事業者連絡協議会
33		区民	区民への啓発	在宅療養者の自助力の強化	災害時のリーフレットの作成 災害時個別支援計画の作成	平成26年度～	—	主催	医療処置が必要な訪問看護利用者の発災時の自助力を高めるため、連絡会で災害時対応リーフレットを作成し、平時から発災時に備える指導を行う。また、保健所からの委託を受け「人工呼吸器利用者の災害時個別支援計画」（東京都事業）の作成を行う。
34		専門職（医師、医療連携室スタッフ、訪問看護師）	専門職のネットワークの充実	病院と訪問看護の連携	主治医と練馬区訪問看護ステーション 連絡会との研修懇親会	—	年1回	共催	訪問看護指示書を出す主治医と、現場で実際に患者と接する訪問看護スタッフとの情報交換、連携、交流を図り、資質向上のための研修・懇親会を開催する。 共催：練馬区医師会
35	練馬区介護サービス事業者連絡協議会居宅介護支援部会	区民	区民への啓発	区民の介護保険に関する知識の向上	介護週間 介護なんでも相談会～介護保険の「？」を聞いてみよう～	—	年1回	協力	介護週間の期間中、練馬区役所アトリウム、光が丘区民センター、関町区民センターに相談コーナーを設置し、ケアマネジャー2名を配置。区民の皆様からの介護に関する相談や質問に対応する。 主催：練馬区事業者連絡協議会